

2021 年度 大学教育に関するアンケート

2022 年 3 月で初期臨床研修を修了する本学卒業生にアンケートを実施しました。
調査票を郵送し、web データ集積管理システム REDCap でご回答いただきました。

実施期間	2022 年 2 月 15 日～4 月 7 日
2020 年度就職者数	88 名
有効回答数	35 名 (回答率 39.7%)

1 大学の教育で役立ったこと

- ・ 1-2 年次の general な講義や生理学、生化学の講義
- ・ 大学 1 回生時の物理、化学など、2-3 回生時の生理学や薬理学といった所謂基礎医学といわれる分野の教育。ただ見学させられるだけの臨床実習は何の役にも立っていない。直立不動で手術見学をする時間などは生涯で一番の時間の無駄だった。
- ・ 心電図の読み方
- ・ 多彩な症例を学ぶことができた。
- ・ ご遺体を解剖させて頂く機会を頂いたことで、医者仕事の重さを肌で感じる事ができました。

- ・ ポリクリ、臨床実習 (3)
- ・ 実技
- ・ ポリクリで上の先生に聞いたことは色々役に立ってます。
- ・ ポリクリの実習で SSC での採血実習、CV、エコーなどの実習が充実していて良かったです。
- ・ SP さんとの医療面接の実習
- ・ 採血実習、留置針
- ・ SSC での採血実習やルート確保をはじめ、CV 挿入や腰椎穿刺など模型を用いた実習は医師になってから役に立ったと思う。
- ・ 採血実習などの、シミュレーション実習が多かったのが良かった。スライド作りもポリクリである程度慣れていたので最初に助かった。
- ・ 5 回生の CC の試験 「こんな主訴・症状・バイタルの患者が来た時に何をしてどう判断し、次の検査に進むか」を短い制限時間内で行うのは振り返ると良かったと思う
- ・ 基本的手技、他科との関わり方や専門的知識について学ぶことが出来た。
- ・ エビデンスに沿った治療方針や先進治療
- ・ 専門領域のオペ
- ・ 病院実習で大学病院などでしかみれない脳外科や心臓外科の手術をみれて実際のイメージを少しであるが掴めたこと。
- ・ 比較的 low 学年から、外病院実習や大学病院での実習や SSC で比較的現実に近い模型を使った実習が組み込まれていたことで、いざ臨床の場で実践する時にイメージがしやすかったように思います。

- ・ 患者とのコミュニケーション力 (2)
- ・ 英語でのカンファ
- ・ 学生目線で優しい先生方が多かったです

- ・適宜明確な目標を示してくれたこと
- ・知識や、諸先輩方との繋がりを持てた事
- ・最先端の研究に触れられたこと。
- ・「病気でなく人を見る」という考え方
- ・友達との繋がりが持てたこと。
- ・色々な学年の上級医をみる事が出来て自分の将来像を想像しやすかった。
- ・授業 人間関係 実習 試験
- ・部活動が続けることで、体力や忍耐力がついた。上下関係の構築の仕方も身をもって学べた。
- ・あまりないかもしれないです。結局は実際に現場に出ないとわからないことばかりでした。

2 大学の教育であったほうが良いと思うこと

- ・英語教育 (2)
- ・数学
- ・臨床推論
- ・臨床に則した授業
- ・論文の読み方、医療統計でよく使うものの解説、ANOVA とか
- ・最新の治療学べる 症例が専門的
- ・頻度の高い疾患に関する実践的な講義
- ・解剖講義を含む基礎医学講義と、臨床医学講義の順番を入れ替えるということが、厚生労働省や文部科学省などの規定上に問題がなければ、検討頂けますと幸いです。解剖実習のみ、臨床講義の後という形でも構いませんが。実感が湧きやすい臨床講義を先にして頂きまして、その後に基礎講義の方が、臨床と基礎との関連性もわかりやすいのではないかと考えます。
- ・手技
- ・救急対応
- ・診察方法
- ・外病院での実習
- ・ポリクリ後の解剖
- ・ポリクリの時にもっと臨床に触れさせてもらいたい
- ・採血や留置針の練習時間
- ・自分の興味ある診療科や将来的に進もうと考えている診療科での長期的な臨床実習。またはその科の研究の手伝い。
- ・私の記憶に残っていないかもしれませんが、実習前の段階で実際の病院で使用する器具の説明などがあれば嬉しいです。
- ・実技を交えた実習だけでなく、場面場面でのプレゼンテーションの練習(カンファレンスや回診など)はあった方がよいと思う。
- ・カルテの使い方の練習 SOAP に沿った書き方はある程度教えてもらった覚えはあったけど、その他の採血や画像検査のオーダー方法とか、細かい使い方も知っていると感じ出した最初に楽だと思った。
- ・初診問診などの機会を多く与えてもらったが、「短い時間で必要な情報を拾い上げる」ことへはもっと力を入れて良いと思う 外来実習で懇切丁寧に全て聞いていく時間がない
- ・座学の時間も大切だと思いますが、ベッドサイドで実際に患者に触れ合う機会を増やしてほしいと

思います。 モニターや酸素マスクの使い方、ベッド移乗の仕方など日々の業務の中で医療従事者にとっては出来て当たり前とされていることでも知らないことはたくさんありました。学生の時に触れておけば良かったと思うところです。

- ・一部の診療科で、指導医の先生の中で、指導体制にムラがあったため、診療科の中で統一した教育システムがあればありがたいと思います。
- ・実際に国家試験の対策など
- ・医師国家試験の過去問解説を、臓器別講義やポリクリの中でして頂けると嬉しかったかもしれません。
- ・卒業試験を国試の過去問にしてほしいと思います。臓器別のガイドラインをみてもわからないような問題の勉強をする意義をあまり感じませんでした。ポリクリは参加する時間よりも突っ立っている時間が圧倒的に長くて、辛い時が多かった。外ポリで市中病院を見学させてもらった時は学生ができる範囲で色々なことを手伝いさせていただき、卒後の働いている姿を少し想像できてよかったです。
- ・POST-CC OSCE や卒業試験は、5年生末や6年生始めなど、もう少し早いタイミングでして頂けた方が、マッチングや医師国家試験の対策がより一層スムーズに運ぶものと考えます。
- ・カルテやエクセル処理
- ・臨床医としてのキャリアパス教育。
- ・卒業後の進路、医師の色々な働き方についての選択肢の提示 卒業後、先輩方がどこの病院に行っているのか、研修医が終わったら次の進路はどう決めるのか、専門医は何科なら何年で取れるのか、どの科にはシーリングがあるのか、などもう少し学生の中に教えておいて欲しかった。
- ・地域医療、在宅医療についての教育
- ・他業種のコメディカルの仕事に触れる。
- ・他の医療職種の人との連携について具体的に学ぶこと (医学的知識のほかに、日常業務など)
- ・海外への交流を増やしていただけると幸いです
- ・研修医に求める基準を統一して欲しいと思いました。
- ・このままでいいです。

3 大学生の時にしておけばよかったと思うこと

- ・英語、外国語の勉強 (3)
- ・統計解析 (3)
- ・論文 (2)
- ・勉強 (2)
- ・数学
- ・国家試験に関係なく臨床的に重要な学習
- ・症候学別のフローチャートの勉強
- ・読書
- ・医学書を読むこと
- ・診察方法
- ・外病院実習
- ・早期の臨床実習

- ・体系的な病態の把握
- ・画像読影
- ・手技トレーニング
- ・カルテ記載の型の習得
- ・プレゼンテーションの型の習得
- ・海外留学
- ・趣味を広げる（患者との信頼関係の構築のため）
- ・ECFMG の取得

- ・医学以外の社会勉強
- ・市中病院についての知識
- ・先輩医師からの話をもっと聞いておくこと。
- ・医者になってからは恥ずかしくて質問できない質問をたくさんすべきだと思う。
- ・もう少し医学、医療のニュースや世界状況に目を向ける習慣を作れば良かったと思っています。
- ・今はコロナウィルスの流行で難しいですが、他大学の学生ともっと触れ合う機会に恵まれていたら と思います。

- ・旅行
- ・筋トレ
- ・何かに打ち込むこと
- ・自由な時間が多かったと感じることが働き始めてから多いです。勉強はもちろんのこと、時間をかけられる趣味や旅行をしておけばよかったと思います。